

FAQ よくあるご質問

『色彩入門』の使い方、主なご質問とその答えをまとめました。

Q.1 起動しない。

DVD-ROMからいずれの方法を使っても起動しない場合には、動作環境に不備がある可能性があります。

→詳細はデジタル教材色彩入門 ユーザーズガイドP10「動作環境」をご参照ください。

A.1

Q.2 DVD-ROMを他のメディアにコピーして使いたい。

色彩入門は、「1ライセンス版」と「校内フリーライセンス版」の2種類がありますが、DVD-ROMの内容を別のメディアにコピーして使うことは使用許諾契約書では認められていません。

→詳細はデジタル教材色彩入門 ユーザーズガイドP04「使用許諾契約書 3. 使用権・利用権限」をご参照ください。

A.2

Q.3 電子黒板やプロジェクターで投影したときに画面いっぱいに表示されない。

ご使用のPCの画面解像度をXGA (1024×768) もしくはそれを含む最小の解像度に設定する必要があります。Windowsのコントロールパネルの「画面の解像度の調整」で設定してしてください。

A.3

Q.4

PCやプロジェクターによって色が異なる。

お使いの機器によって色は異なりますのでご了承ください。

A.5

補足

視聴覚機器で再現したものでは色彩学習は難しいと考えるのは、美術作品も実物がなければ鑑賞の学習はできないと言っているのと同様に教育の世界には馴染まない考えと言えます。複製の図版やスライドで鑑賞の学習が成り立つのと同様に、色彩の学習もまたPCの画面や液晶プロジェクターでの投影により十分成立すると考えます。

本ソフトでは、日本の伝統色も扱っており、それは配色などとは違い、特に厳正な色が要求されても不思議ではありません。そのため特に慎重に吟味する必要を感じ検討しました。しかし、伝統色こそメートル原器のような基準が存在するわけではなく、伝統色を扱った事典や教科書、色見本帳によってそれぞれ微妙に異なっています。つまり、重要視すべきは、古来親しまれてきた自然界の事象や自然物の名称、染色の工程など色名の由来*1を知ることなのです。したがって、このソフトの開発にあたり、色彩学習において視聴覚機器を利用することは、その個体差を含め支障とはならないという立場を取っています。

*1 中江克己『色の名前で読み解く日本史』青春出版社、2003、福田邦夫『日本の伝統色』読売新聞社、1987など伝統色や色の由来に関しては多くの書籍が出版されている。